

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	スポーツ科学指導演習		担当教員	内丸 仁/久能和夫			
	Teaching Method of Sport Science (S.)						
領域水準コード	R3	単位数	2	履修方法	選択	授業の方法	演習
授業の概要							
スポーツ科学の基本的な知識や理論を、次年度の前期に1年生に対して「スポーツ科学特論」の中で教授する。そのための指導計画書および指導上の留意事項について、この授業を通して策定することが、本演習の目的である。							
授業の一般目標							
スポーツの専門的指導者として求められる教授技法を獲得する。ここでは特にスポーツ科学の知識や理論を、学習者に教授するために適切な内容・水準・方法を策定することができることを目標とする。							
授業の到達目標							
■ 認知的領域	スポーツ科学を教授するために適切な内容や方法を考案し、適切な教授技法の留意点を理解する						
■ 情意的領域	他と共同しながら与えられた課題を積極的に解決しようと努力する						
■ 技能表現的領域	調べたことをわかりやすくまとめてプレゼンテーションすることができる						
授業計画(全体)							
一般的な学習指導計画書の立案法等についてレクチャーする。そのあとは各グループに分かれて、学習指導計画書ならびに指導上の留意事項を、所定の課題を行いながら策定する。							
授業計画(詳細)							
授業テーマとその内容							
<ol style="list-style-type: none"> 一般的な学習指導計画書の立案のための基本知識や方法などについて学習する。 その方法に従って「スポーツ科学特論」の学習指導計画書概要案をグループごとに立案する。 立案した学習指導計画書概要案をプレゼンテーションする。 各グループが立案した学習指導計画書概要案をもとに、最終的に1つの学習指導計画書概要案を策定する。 同概要案が確定したら、人文、社会、自然などの分野に単元をわけて、各単元についてさらに授業時間ごとの詳細な学習指導計画書をグループごとに立案する。 立案した同計画書をグループごとにプレゼンテーションする。 実際の指導の際に必要な技法や注意点など、指導上の留意事項について各グループでリストアップする。 同学習指導計画書の一部について各グループの代表者が実際に授業を実施する。 行われた授業について相互に評価しあう。 これらの作業を踏まえたで最終的な学習指導計画書ならびに指導上の留意事項について策定する。 							
授業外学習の指示等							
<ol style="list-style-type: none"> 教授技法の理論や要点に関する多様な資料を積極的に収集すること 本学の教員等に依頼し、許可を得られれば授業の観察等を行うこと 専門分野の学習内容についてはそれぞれの教員に相談すること 							
成績評価方法(方針)							
学習指導計画書(40%) + 指導上の留意事項(10%) + プレゼンテーション(20%) + ポートフォリオ(30%)							
成績評価方法(詳細)					履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)		
	到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	1.4回以上欠席の場合、単位認定の欠格次項とする。	
成績評価方法							
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート				◎	60		
授業外のレポート							
ポートフォリオ			◎	◎	40		
出席			◎		欠格条件		
その他							
関連科目	スポーツ科学特講						
教科書				参考書	「成長するティップス先生」(名古屋大学) 「シラバスの作成」(山口大学FDハンドブック)		
連絡先	内丸:C棟2階/久能:A棟3階						